

命を守る一人ひとりの防災対策

津波警報などの種類と「とるべき行動」

種類	予想される津波の高さ	とるべき行動
大津波警報	10 m 超	<ul style="list-style-type: none"> 沿岸部や川沿いにいる方は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所に避難する 津波警報などが解除されるまで安全な場所から離れない 
	10 m (5 m 超 10 m 以下)	
	5 m (3 m 超 5 m 以下)	
津波警報	3 m (1 m 超 3 m 以下)	<ul style="list-style-type: none"> ※ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1 m (0.2 m 超 1 m 以下)	<ul style="list-style-type: none"> 海の中にいる方は、ただちに海から上がり海岸から離れ、津波注意報が解除されるまで海岸に近付かない

緊急速報メール (エリアメール)

▼緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報を携帯電話各社が特定のエリアの利用者に一斉送信するサービスのことです。

市では、緊急速報メールを活用し、災害発生の際に避難所などの情報を配信します。

※緊急速報メールの受信方法などについては、契約している携帯電話各社へお問い合わせください。

「北海道防災総合訓練」を実施します

📅 11月2日(月)

📍 留萌小学校、留萌振興局ほか

※詳細については、町内会などを通じてお知らせします。



風水害に備えよう

▼近年、集中豪雨が多発しており、大雨や台風による浸水被害や土砂災害が心配されます。

大雨などにより避難する際は、地域で助け合って避難するよう、皆様のご協力とご理解をよろしくお願いします。

大雨警報(土砂災害・浸水)や洪水警報、注意報などが発表された際に身を守るため、次のことに気を付けてください。

- ①避難場所や避難経路、自宅周辺の危険箇所をあらかじめ確認しておきましょう。
- ②防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネットなどを活用し、正確な情報収集を行いましょう。
- ③河川の水位の急激な変化、流水の異常な濁りなどの“前兆現象”を確認した場合は、十分に注意しましょう。
- ④身の危険を感じた際は、直ちに安全な場所へ避難しましょう。



もしものために備えよう！ 9月1日は「防災の日」

災害は、いつ発生するか分かりません。今回は、地震・津波・風水害に関する情報や行動などについて学びましょう。



津波への対応について

津波は、地形などの影響により、局所的に予想よりも高くなる場合があります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、すぐに避難を開始するようにしてください。

また、津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災級の巨大津波が襲ってくるおそれがありますので、直ちに海拔の高い場所へ避難しましょう。

津波は、長い時間で繰り返し襲ってきます。津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

地震が発生したら…

地震が発生した際には、気象庁が地震の規模や位置を推定し、沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に大津波警報(特別警報)、津波警報などを発表します。

市では、防災行政無線や広報車などを活用し、これらの情報を皆さんに伝達していきます。

地震および津波に関する情報

